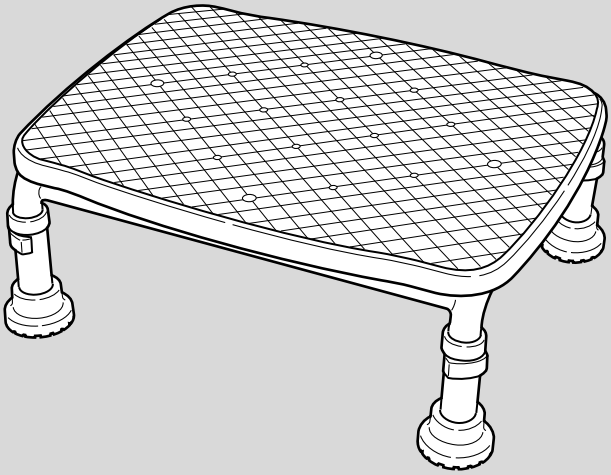
安寿（あんじゅ）

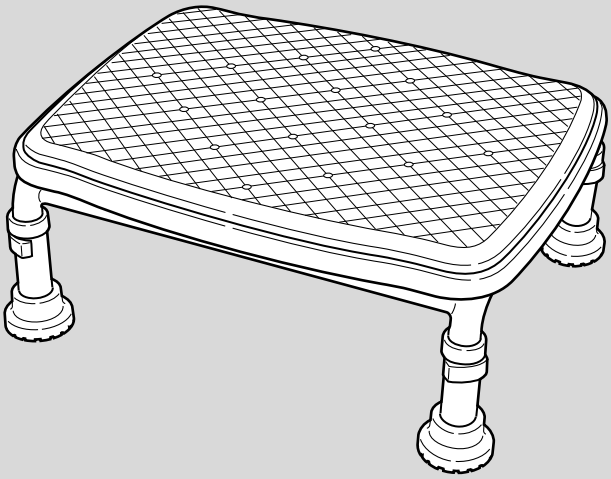
大切にしたい。
自立への気持ちと思いやり。

ステンレス製浴槽台R “あしぴた”シリーズ 取扱説明書

最大使用者体重：100kg以下



すべり止めシートタイプ



ソフトクッションタイプ

このたびはステンレス製浴槽台R“あしぴた”シリーズをお求めいただきまして、まことにありがとうございます。
正しくお使いいただくため、
ご使用前に必ずお読みください。
なお、この取扱説明書は大切に保管してください。

もくじ

安全上のご注意	1･2
各部のなまえ・特長	3
設置方法	4
使いかた	5
お手入れの方法	5･6

ARONKASEI CO.,LTD.

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、あなたや他人への危害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠警告	誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。
⚠注意	誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示（図記号）で区分し、説明しています。（下記は絵表示の例です）

必ず実行していただく「強制」内容を説明しています。

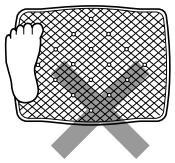
してはいけない「禁止」内容を説明しています。

⚠ 警告

使用者が自分の身体を十分に安定させられない場合は、必ず介助者が付き添うこと
転倒し、けがの原因になります。

設置前には、必ずはめ込みピン・脚ゴムが差し込んであるか、ソフトクッションが外れていないか、天板がはまっているか確認すること
転倒し、けがの原因になります。

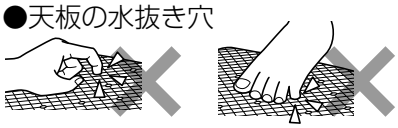
天面の端に足を置かないこと
本体が傾いたり、滑ったりして転倒し、けがの原因になります。



本体のすき間や天板の水抜き穴に手指や足指を入れないこと
指が抜けなくなり、けがの原因になります。

●本体のすき間

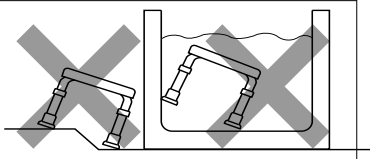
●天板の水抜き穴



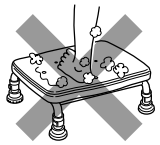
浴室以外では使用しないこと
けがの原因になります。

浴槽台を落下などで変形、破損させた場合は使用しないこと
転倒し、けがの原因になります。

不安定な場所には設置しないこと
転倒し、けがの原因になります。



石けん等のついた足で、浴槽台に上がらないこと
転倒し、けがの原因になります。



浴槽台の上で横方向に、強く力を加えないこと
本体が移動し、転倒やけがの原因になります。

⚠ 注意

改造や分解をしないこと
本品が正常にはたらかず、けがの原因になります。

追い焚き付き給湯器や直焚き浴槽、お湯が循環している浴槽（24時間風呂）で使用する場合は、湯沸かしが完了してから設置すること
プラスチックが変形又は破損し、転倒やけがの原因になります。

使用後は浴槽から取り出すこと
湯水につけたままではプラスチック、ソフトクッション等の劣化が早まり、変形又は破損して転倒やけがの原因になります。

浴槽台が、安定していることを確認してから使用すること
浴槽台がガタツキ、転倒しけがの原因になります。

排水溝のフタの上に脚ゴムが乗らないように設置すること
ガタツキ、転倒しけがの原因になります。

ソフトクッション裏面のすべての突起が奥までしっかり入っているか十分確認すること
ソフトクッションが外れ、転倒しけがの原因になります。

安全上のご注意

⚠ 注意

平らな床面に設置する場合、スライド支柱は4本とも同じ高さに調節して使用すること
4本すべてが同じ高さに調節されていないと、天板が傾き転倒し、けがの原因になります。

はめ込みピンを差し込んだ後、必ず反対側からピンが出ているか確認すること
浴槽台がガタツキ、転倒しけがの原因になります。

排水口の近くに設置する場合は、止水栓の鎖に注意すること
浴槽台がガタツキ、転倒しけがの原因になります。

入浴動作は身体の安定を確認しながらゆっくりおこなうこと
転倒し、けがの原因になります。

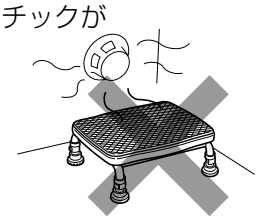
天板裏面のツメが本体のパイプにはまっているか、確認すること
天板がガタツキ、転倒しけがの原因になります。

脚ゴムと接続キャップが支柱にしっかりはまっているか、確認すること
浴槽台がガタツキ、転倒しけがの原因になります。

浴槽台と浴槽の底面にぬめりや汚れが付着したままで使用しないこと
滑って転倒し、けがの原因になります。

底部が平面でない浴槽には使用しないこと
転倒やけがの原因になります。

沸き出し口に近い位置に設置したり、湯温が高温（60℃以上）の状態で設置しないこと
ソフトクッションやプラスチックが変形または破損し、けがの原因になります。



ソフトクッションは裏返して使用しないこと
転倒し、けがの原因になります。

浴槽台は、こまめに清掃すること
すべり止めシートやソフトクッション、脚ゴムにカビやぬめりが発生し、汚れが取れなくなったり、滑って転倒し、ケガの原因になります。

お手入れの際は、タワシや磨き粉、研磨剤入りのスポンジ等は使用しないこと
塩素系洗剤、酸・アルカリ性洗剤、シンナー、クレゾール等は絶対に使用しないこと
プラスチックが劣化または破損し、けがの原因になります。

ツルツルした小さいタイルが埋め込まれた洗い場では使用しないこと
すべりやすく、転倒しけがの原因になります。

人が座っている状態で製品を持って移動させないこと
本体が破損し、けがの原因になります。

体重が100kgを超える方は使用しないこと
本体が破損し、けがの原因になります。

給水口、給湯口、蛇口の近くで使用しないこと
やけどの原因になることがあります。

塩ビ製フロアマット（床）の上に長期間放置しないこと
フロアマットや脚ゴムが劣化および変色する恐れがあります。

直射日光に当てたり、戸外に放置しないこと
製品が劣化または破損し、けがの原因になります。

熱湯をかけないこと
製品が変形し、けがの原因になります。

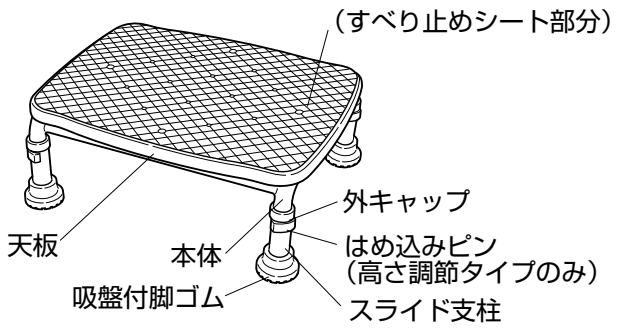
火気に近付けないこと
製品が変形または破損する恐れがあります。

ご注意

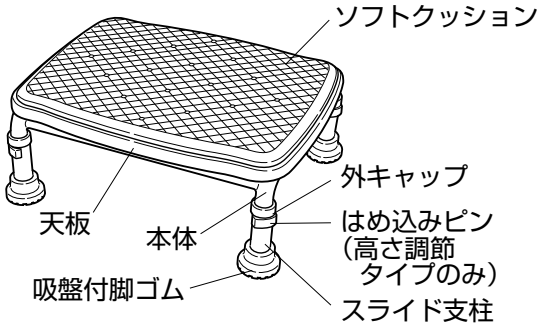
温泉や入浴剤入りのお湯が入った浴槽に設置されると、プラスチックの劣化や金属部の腐食が発生するおそれがありますのでご使用の際はご注意ください。
腐食が発生したら使用をお控えください。

各部のなまえ

すべり止めシートタイプ



ソフトクッションタイプ



すべり止めシートタイプ

品　名	サイズ	高さ調節	重　量	材　質
10	幅41.5×奥行34×高さ10cm	無し	約2.8kg	本体：ステンレス 天板：エラストマー／ポリプロピレン スライド支柱：ステンレス 外キャップ：EVA はめ込みピン：ステンレス／ポリプロピレン 吸盤付脚ゴム：エラストマー 接続キャップ：ポリプロピレン
12-15	幅41.5×奥行34×高さ12・15cm	有り	約3.1kg	
15-20	幅41.5×奥行34×高さ15・17.5・20cm	有り	約3.3kg	
17.5-25	幅41.5×奥行34× 高さ17.5・20・22.5・25cm	有り	約3.4kg	
20-30	幅41.5×奥行34× 高さ20・22.5・25・27.5・30cm	有り	約3.6kg	
ミニ10	幅33×奥行30×高さ10cm	無し	約2.2kg	
ミニ12-15	幅33×奥行30×高さ12・15cm	有り	約2.5kg	
ミニ15-20	幅33×奥行30×高さ15・17.5・20cm	有り	約2.6kg	

ソフトクッションタイプ

品　名	サイズ	高さ調節	重　量	材　質
ソフト10	幅41.5×奥行34×高さ10cm	無し	約2.6kg	本体：ステンレス 天板：ポリプロピレン ソフトクッション：EVA スライド支柱：ステンレス 外キャップ：EVA はめ込みピン：ステンレス／ポリプロピレン 吸盤付脚ゴム：エラストマー 接続キャップ：ポリプロピレン
ソフト12-15	幅41.5×奥行34×高さ12・15cm	有り	約2.8kg	
ソフト15-20	幅41.5×奥行34×高さ15・17.5・20cm	有り	約3kg	
ソフト17.5-25	幅41.5×奥行34× 高さ17.5・20・22.5・25cm	有り	約3.2kg	
ソフト20-30	幅41.5×奥行34× 高さ20・22.5・25・27.5・30cm	有り	約3.3kg	
ミニソフト10	幅33×奥行30×高さ10cm	無し	約2.1kg	
ミニソフト12-15	幅33×奥行30×高さ12・15cm	有り	約2.3kg	
ミニソフト15-20	幅33×奥行30×高さ15・17.5・20cm	有り	約2.5kg	

特長

●ミニタイプ特長
・浴槽底面が狭い浴槽にも設置できるコンパクトタイプを品揃え（製品サイズ：33×30cm）

●ソフトタイプ特長
・天面にソフトクッションを取り付けた商品も品揃え。長時間座っていてもおしりが痛くなりません。

●[カラー：レッド] タイプ特長
・天面のフチには、お湯の中でも識別しやすい赤色を採用しています。

●共通特長
・浴槽台が自重で沈むため、木製などの吸盤が付かない浴槽にも取り付けができます。
・脚ゴム裏面は、横滑りしにくい形状（格子形状）に、仮固定用の吸盤を採用しています。

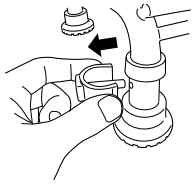
設置方法

1 高さを調節する（高さ調節仕様の製品のみ）

※部品名称は、P.3　各部のなまえ参照

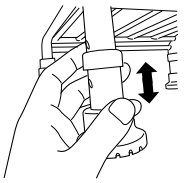
1. スライド支柱に差し込んであるはめ込みピンを外します。

出荷時の天板高さ
●12-15：12cm
●15-20：15cm
●17.5-25：17.5cm
●20-30：20cm



設置方法

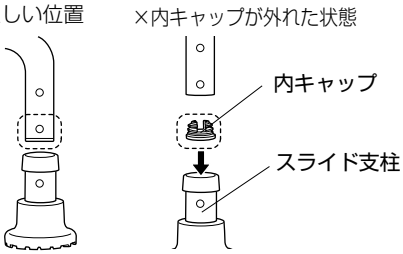
2. スライド支柱をスライドさせ設定したい高さの穴に合わせます。



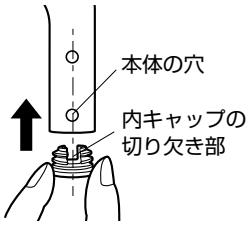
注意
平らな床面に設置する場合、スライド支柱は4本とも同じ高さに調節して使用すること
4本すべてが同じ高さに調節されていないと、天板が傾き転倒しけがの原因になります。

ご注意

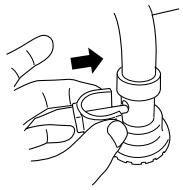
スライド支柱を本体から抜いてしまうと内キャップがスライド支柱の中に残ってしまう場合があります。外れた内キャップは、本体の元の位置に、はめ直してください。



※浴槽台12-15の場合は、内キャップの切り欠きと本体の穴の位置を合わせてはめてください。
穴の位置が合っていないと、はめ込みピンをはめることができません。



3. はめ込みピンをはめます。

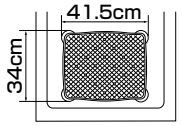


注意
はめ込みピンが4ヵ所すべてに差し込んであり、ピンが反対側から出ているか確認すること
浴槽台がガタツキ、転倒しけがの原因になります。

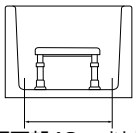
2 浴槽内に設置する場合
（浴槽台として使用する場合）

●設置例

浴槽底面の幅が42cm以上の場合

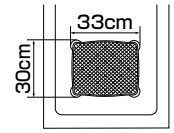


標準タイプが設置できます。

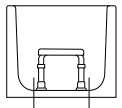


平面部42cm以上

浴槽底面の幅が42cm~35cmの場合



ミニタイプが設置できます。



平面部
42cm~35cm

注意
浴槽台が、安定していることを確認してから使用すること
浴槽台がガタツキ、転倒しけがの原因になります。
給水口、給湯口、蛇口の近くで使用しないこと
やけどの原因になることがあります。
排水口の近くに設置する場合は、止水栓の鎖に注意すること
浴槽台がガタツキ、転倒しけがの原因になります。

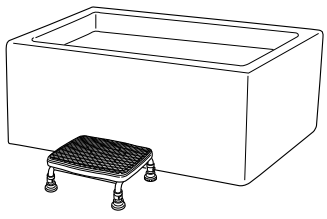
※製品を浴槽から取り外すときは、本体ごと取り外してください。天板のみを持つと、天板と本体が外れる場合があります。

ご注意

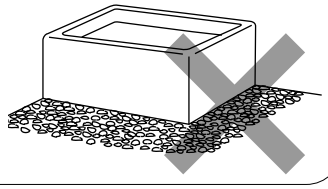
温泉や入浴剤入りのお湯が入った浴槽に設置されると、プラスチックの劣化や金属部の腐食が発生するおそれがありますのでご使用の際はご注意ください。
腐食が発生したら使用をお控えください。

3 洗い場に設置する場合（踏み台として使用する場合）

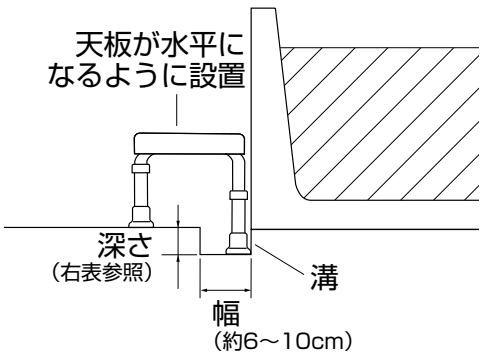
●浴槽台が、安定する位置に設置してください。



注意
ツルツルした小さいタイルが埋め込まれた洗い場では使用しないこと
すべりやすく転倒する恐れがあります。もし使用されるときは、洗い場用マットをすきまなく洗い場全面にしきつめ、その上に置き、十分注意してご使用ください。



●洗い場に溝がある場合は、スライド支柱の長さを変えることにより、設置が可能です。
※「10」「ミニ10」「ソフト10」「ミニソフト10」は高さ調節ができないため、溝がある洗い場には設置できません。
※対応溝深さの表を目安にしてください。



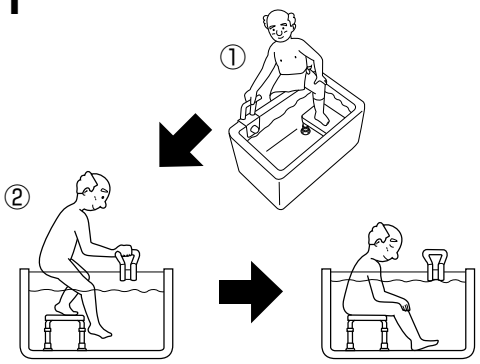
品　名	対応溝深さ
浴槽台12-15の場合	3cm
浴槽台15-20の場合	2.5cm／5cm
浴槽台17.5-25の場合	2.5cm／5cm／7.5cm
浴槽台20-30の場合	2.5cm／5cm／7.5cm／10cm

注意
上記寸法以外の溝深さの洗い場では、踏み台として使用しないこと
浴槽台が不安定になり、転倒しけがの原因になります。
浴槽台が安定していることを確認してから使用すること
ガタツキ、転倒しけがの原因になります。
排水溝のフタの上に脚ゴムが乗らないように設置すること
ガタツキ、転倒しけがの原因になります。
天板が水平になるように設置すること
ガタツキ、転倒しけがの原因になります。

使いかた

※必ず浴槽台が安定していることを確認してからご使用ください。

1 浴槽内に設置した場合の使いかた（浴槽台として使用する場合）

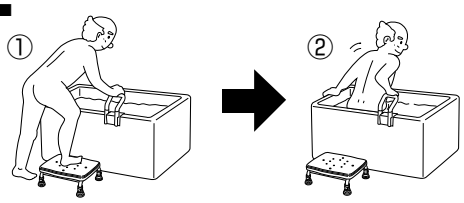


①浴槽のふちや手すりなどを持って身体の安定を確認し、片足ずつゆっくりと浴槽台にのせます。

②浴槽台から片足ずつゆっくりと浴槽内に足を移し、静かに座ってください。

③浴槽から出るときは、入るときと逆の手順で行ってください。

2 洗い場に設置した場合の使いかた（踏み台として使用する場合）

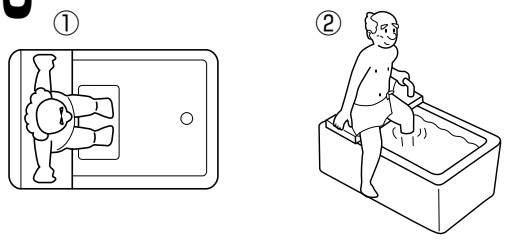


①浴槽のふちや手すり等を必ず持って身体の安定を確認し、片足ずつゆっくりと浴槽台に上がってください。

②身体の安定を保ちながら、片足ずつゆっくりと浴槽内に足を移してください。

③浴槽から出るときは、体の向きを変え、入るときと逆の手順で行ってください。

3 バスボードと併用する場合



①バスボードと平行に足をおろす場所に設置してください。

②バスボードに座り、浴槽台に足を移してください。

⚠ 注意

入浴動作は身体の安定を確認しながらゆっくりおこなうこと
転倒し、けがの原因になります。
石けん等のついた足で浴槽台に上がらないこと
転倒や、けがの原因になります。

お手入れの方法

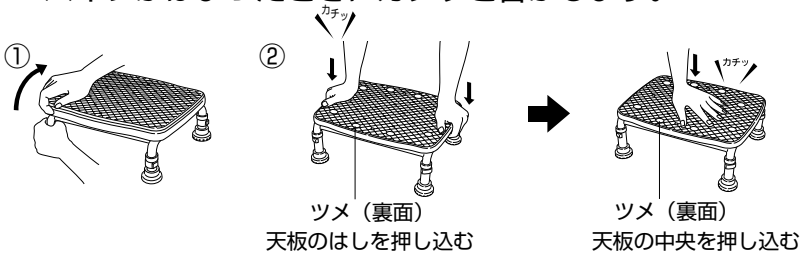
●浴槽台は、長時間、水中や湿気にさらされると、湯あかでぬめりが生じやすくなります。下記の手順に従って、こまめにお手入れしてください。

1 本体と天板の取り外し方法・取り付け方法

①本体を押さえ、天板のはしに指をかけて外してください。

②天板をはめるときは、本体に天板を置き、天板裏面の全てのツメをはめて、組み立ててください。

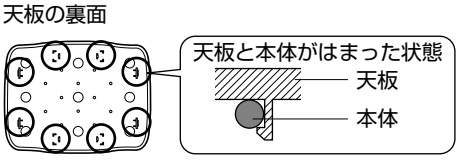
※パイプがはまったときにカチッと音がします。



⚠ 注意

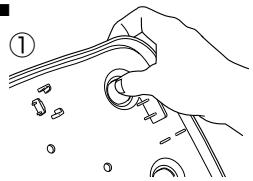
天板裏面の全てのツメが本体のパイプにはまっているか、確認すること
天板がガタツキ、転倒しけがの原因になります。

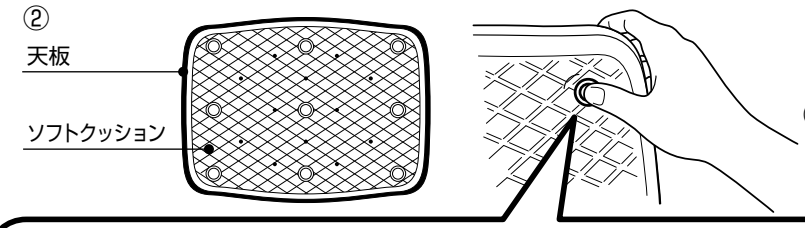
天板の裏面



お手入れの方法

2 天板とソフトクッションの［取り外し・取り付け］方法〈ソフトタイプのみ〉

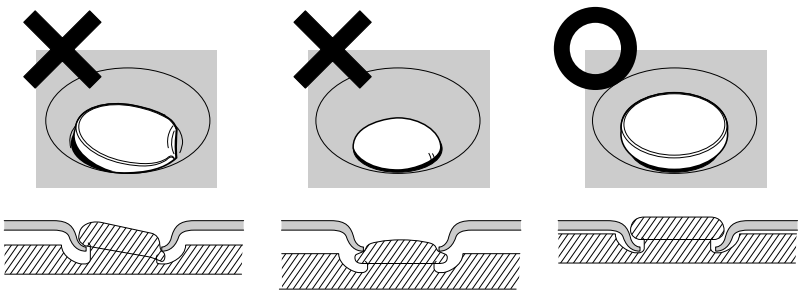




①天板裏面から、ソフトクッションの突起を押すとソフトクッションが外れます。

②天板とソフトクッションを合わせます。
ソフトクッションの表面の◎印（9か所）を1か所ずつ押して、天板にソフトクッションをはめ込んでください。

③天板の裏面から全てのソフトクッションの突起が完全にはまっていることを確認してください。

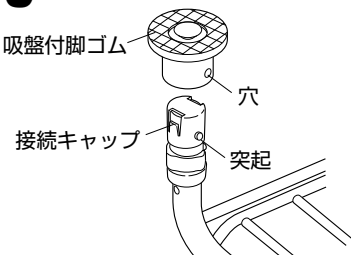


警告

天板の裏面から、
ソフトクッション裏面の突起が全て奥までしっかり入っているか、十分確認すること

中途半端にはまっていると、ソフトクッションが外れ、転倒しけがの原因になります。

3 吸盤付脚ゴムの取り外し方法・取り付け方法



①脚ゴムは本体を押さえてゆっくり引っ張ると外れます。
※ねじりながら外すと接続キャップも外れるのでご注意ください。

②脚ゴムをはめる時は、接続キャップの突起と脚ゴムの穴の位置をあわせてはめ込んでください。

注意

脚ゴムが接続キャップの突起にしっかりはまっているか十分確認すること
突起と穴がずれていたり中途半端にはまっていると本体がガタツキ、転倒しけがの原因になります。

脚ゴムの吸盤が付きにくくなったら交換すること
浴槽台が滑って、けがの原因になります。

4 本体の洗浄

●中性洗剤のうすめ液をスポンジかやわらかい布にふくませ、汚れを取ったあと、きれいな水で洗剤を洗い流し、かげ干しか、乾いた布で空ぶきしてください。

注意

●浴槽台は、こまめに清掃すること
すべり止めシートやソフトクッション、脚ゴムにカビやぬめりが発生し、汚れが取れなくなったり、滑って転倒し、ケガの原因になります。

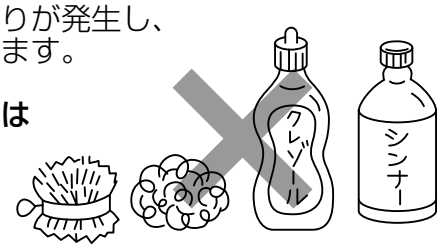
●タワシや磨き粉、研磨剤入りのスポンジ等は使用しないこと

●塩素系洗剤、酸・アルカリ性洗剤、シンナー、クレゾール等は絶対に使用しないこと
プラスチックが劣化または破損し、けがの原因になります。

●直射日光に当てたり、戸外に放置しないこと
プラスチックが劣化または破損し、けがの原因になります。

●熱湯をかけないこと
プラスチックが変形し、けがの原因になります。

●火気に近付けないこと
プラスチックが変形または破損する恐れがあります。



※脚ゴム、ソフトクッションは消耗品ですので、汚れたり、破損した場合はお買い求めになられた販売店にご相談ください。

●製品の仕様および価格は、予告なく変更する場合があります。 11.03

製品に関するご意見・お問い合わせは

お客様相談室

フリーダイヤル **0120-86-7735**

（受付時間）祝祭日以外の月～金 9:00～17:00
（12:00～13:00はのぞく）

アロン化成株式会社

ライフサポート事業部

〒141-0022 東京都品川区東五反田1-22-1 五反田ANビル4階 TEL(03)5420-1556
FAX(03)5420-7750

東京支店 ☎(03)5420-1562
大阪支店 ☎(06)6448-5127
名古屋支店 ☎(052)203-0396
福岡支店 ☎(092)741-1411
仙台支店 ☎(022)291-5477
広島支店 ☎(082)245-7100
札幌営業所 ☎(011)709-6011

910768-2